

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日  
 剰余金の配当基準日 3月31日  
 (中間配当を行う場合は9月30日)  
 定時株主総会 毎年6月  
 単元株式数 100株  
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 <連絡先> 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 東京都府中市日鋼町1-1  
 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)  
 平日9:00-17:00 オペレーター対応  
 <郵送先> 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 公告方法 電子公告  
 (https://www.miraca.com/)  
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

### 株式に関する手続き等について

お問い合わせ内容	証券会社にて株式をお持ちの場合	特別口座*の場合
住所変更		
単元未満株式の買取・買増請求	お取引のある証券会社にお問い合わせください。	三菱UFJ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
配当金受取方法の変更		
未受領の配当金の受取方法	三菱UFJ信託銀行証券代行部にお問い合わせください。 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)	

\*株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)に預託されていなかった株主さまの株式は、当社が株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に「特別口座」を開設して記録、管理しております。



### 【表紙の作品について】

表紙の絵は、古謝哲也さん作「田舎の道路」(パラリンアート作品)です。

※「パラリンアート」とは、障がい者の社会的参加と経済的自立を彼らの芸術的表現を通じて支援する、一般社団法人障がい者自立推進機構による活動です。みらかグループは「パラリンアート」を支援しております。

## みらかホールディングス株式会社

〒163-0408 東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビルディング  
 お問い合わせ: コーポレートコミュニケーション本部 IR/SR部 TEL 03-5909-3337  
<https://www.miraca.com/>



# 人と医療のまんなかで、

私たちの仕事、

それは何百万、何千万というからだのデータを通して、  
そして医療の現場で、人々の健康を見守っている仕事です。

その仕事は、表に見える仕事ではないけれど、  
今日も人々と医療の間で健康を支えている。

私たちには、私たちだけが見えている未来があります。  
それはたくさんのデータが教えてくれる、いのちの未来。

大きな世の中の変化の中で、  
私たちにしかつくりだすことができない、健康の未来。

私たちは、見つけたい。

誰もが健康で長く生きられる社会のために、  
まだ誰も気づいていない、人間のからだの可能性を。

私たちは、動きだす。

見守るだけでなく、何が大切かを自らが見つけ出し、  
人々と医療の進歩を、確かな信頼でつなげていくために。

人と医療のまんなかで、

変わらない使命のために、  
私たちはひとつになって、変わり続ける。

受託臨床  
検査事業

臨床検査薬  
事業

Miraca

ヘルスケア  
関連事業

## Contents

グループメッセージ	2
Top Message	3
TOPICS	7
連結財務ハイライト	9
セグメント別情報	10
特集 開業医向けサービスの 向上を目指して	11
IRニュース	13
会社概要	14
株式の状況	14

## Top Message

# 将来の成長に向けた投資を 新規事業の育成に注力いた 加速するとともに します。

みらかホールディングス株式会社  
代表執行役社長 兼 グループCEO

竹内 成和

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

## 2019年3月期の業績概況

当期の業績につきましては、売上高は1,814億15百万円(前期比7.2%減)、営業利益は146億48百万円(前期比17.0%減)、経常利益は115億24百万円(前期比30.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は63億86百万円(前期は2億57百万円)となりました。

売上高は、国内受託臨床検査事業の販売が伸長したものの、Miraca Life Sciences, Inc. (米国病理検査事業、以下、「MLS」) が売却に伴い2017年11月に連結除外となったことから、全体としては減収となりました。なお、MLSの影響を除く売上高は26億9百万円(前期比1.5%増)の増収となりました。

営業利益は、各事業における成長基盤構築のための先行費用および設備投資に伴う減価償却費の増加が減益要因となりました。また、経常利益は、営業利益の減益に加え、持分法による

投資損失の計上等により減益となりました。

なお、親会社株主に帰属する当期純利益は、繰延税金資産の一部取り崩しがあったものの、前期においてはMLSの売却に係る特別損失等を計上していたことから、大幅に改善しております。

## 中期計画の進捗状況

当グループは、将来の飛躍的かつ持続的な成長に資する事業基盤を構築すべく、グループ一丸となって2017年4月より中期計画「Transform!

## ●当期の業績

	2019年3月期
売上高	1,814 億円 (7.2%減)
営業利益	146 億円 (17.0%減)
経常利益	115 億円 (30.4%減)
親会社株主に帰属する 当期純利益	63 億円 <small>※前期の親会社株主に 帰属する当期純利益 は2億57百万円</small>

2020」に取り組んでおります。本中期計画の2年目にあたる当期(2019年3月期)においては、既存事業の売上成長を目指した諸施策を加速させるとともに、新たな事業領域への参入も開始いたしました。

既存事業につきましては、各事業において顧客基盤の強化を優先課題として取り組みました。国内の受託臨床検査事業においては、ITを活用した付加価値の高い独自サービスを提供するとともにショールーム機能を備えた全自動ラボラトリー「SRL Advanced Lab. Azabu」を活用すること

●今後の事業展開



で首都圏を中心に開業医市場のシェア向上に努めました。また、院内検査事業の営業活動も強化した結果、顧客数、テスト数ともに前期を上回るペースで伸ばいたしました。同時に遺伝子関連検査など付加価値の高い新規検査項目の導入を推進いたしました。

臨床検査薬事業においては、主力製品であるルミパルス®シリーズの設置を強化した結果、国内外において市場設置台数が伸びました。特に国内においては高処理能力をもつ最新検査機器「ルミパルス®L2400」の市場設置機台比率が高まったこともあり、試薬の売上が拡大いたしました。

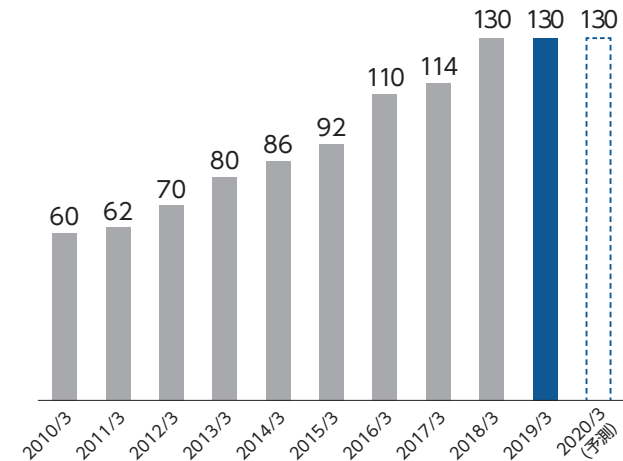
新たな事業領域への参入につきましては、中国

における受託臨床検査市場への参入、臨床検査の領域で培った技術・ノウハウを活用した食品・環境・化粧品検査市場への再参入、未病・予防領域への展開などを推進いたしました。

### 将来成長の加速

本中期計画に則り、これまでグループ一体化およびシナジーの追求、設備・施設の改善および更新等、経営課題の解決に取り組んでまいりましたが、これらについては、2019年3月期までに一巡したものと考えております。本中期計画の最終年度である2020年3月期には、将来の成長に向けた活動および事業領域の拡大に一層注力して

●1株あたり年間配当金の推移 (単位:円)



まいります。

2022年3月期初頭に稼働予定の新セントラルラボラトリーについては、2019年2月に着工いたしました。稼働後は、世界最大規模となる24時間稼働の全自動ラボラトリーとして、効率化とコスト削減を実現してまいります。また、当施設は災害時においても検査を継続できるよう全ての施設に免震・耐震構造を採用するなど、みらかグループが社会的責任を果たすための中核施設となる予定です。

### 株主のみなさまへ

株主のみなさまへの利益還元につきましては、



特別損失等特殊要因を除いた純利益に対する配当性向50%以上とする基本方針に変更はございません。本中期計画期間においては将来成長に資する施策を優先することで一時的に利益水準が低くなりますが、当期および来期においては、配当の安定性も勘案した上で1株あたりの年間配当額130円を維持したいと考えております。

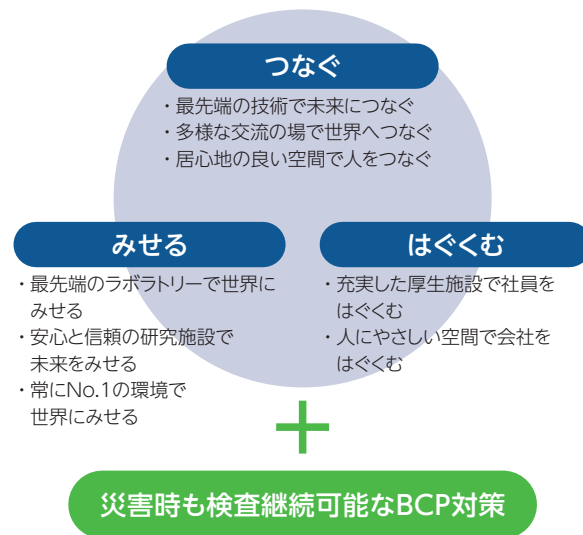
これからもグループ各社の一層の連携強化を図り、グループシナジーを最大限発揮していくことで、さらなる業績向上に邁進してまいります。株主のみなさまにおかれましては、今後とも引き続き変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 新セントラルラボラトリー稼働に向けて——『あきる野プロジェクト』の本格化

みらかグループは主に臨床検査を通じて社会課題の解決に貢献しています。社会保障費の増大が課題となるなか、私たちは将来においても安定的に検査を提供することがみらかグループの社会的使命と考えております。その使命の実現のために、最先端技術による高効率・高品質な検査が可能となる新セントラルラボラトリーの建設を東京都あきる野市で進めています。2019年2月には関係者約80名が出席して地鎮祭を執り行いました。

この『あきる野プロジェクト』では、デザインコンセプト「水と緑に囲まれた人々の交流あふれる臨床検査と研究の“まち”」、設計コンセプト「つなぐ・みせる・はぐくむ」を掲げています。人や環境にやさしい開かれた空間づくりを実現するとともに、重要な社会インフラとして大規模災害時にも検査が継続できる施設を目指します。

### 【設計コンセプト】



建設工事の様子



新セントラルラボラトリー 完成イメージ

## 中国市場への参入に向けて——平安好医との合併会社を設立

エスアールエルは、子会社のSRL(Hong Kong) Limitedを通じて、平安好医投资管理有限公司と合併会社を設立しました。

平安好医は、中国最大の保険会社である中国平安保険（集団）の医療・ヘルスケア事業領域におけるグループ会社のひとつです。平安グループのもつ顧客資産や営業力と、エスアールエルの高い技術力やノウハウを融合することで、中国において高品質な受託臨床検査サービスの提供を目指します。



平安グループが運営する広州ラボラトリー

## 新事業領域への参入

みらかグループは、将来の事業環境の変化を見据え、事業領域の拡大にも注力しています。

在宅医療へのニーズの高まりが見込まれるなか、2018年10月、みらかグループとして初の本格的なBtoC事業（一般消費者向け事業）として訪問看護事業に新規参入しました。

また、2019年2月には、企業健康保険組合向けサービスおよびセルフメディケーション事業を営む株式会社セルメスタの全株式を取得し、子会社化しました。今後、病気の早期発見や「未病」「予防」の重要性が高まるなか、セルメスタのもつ企業健康保険組合会員への郵送検査などを活用した新しいサービスの拡充を目指します。

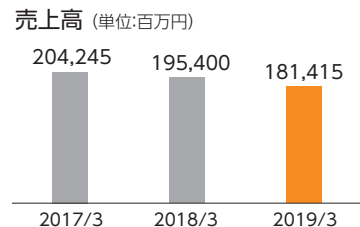


訪問看護事業を通じて在宅ケアを支援します

## 連結財務ハイライト

売上高

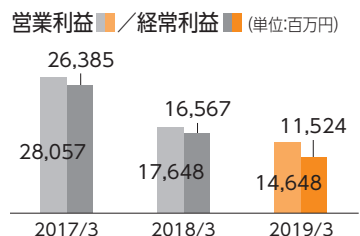
売上高  
**1,814億15**百万円  
前期比 7.2%減



当期の売上高は、国内受託臨床検査事業の販売が伸長したものの、Miraca Life Sciences, Inc. (米国病理検査事業、以下「MLS」) が売却に伴い2017年11月に連結除外となったことから、減収となりました。

利益

営業利益  
**146億48**百万円  
前期比 17.0%減

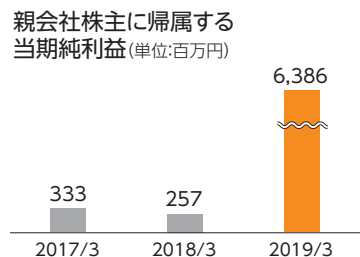


営業利益は、各事業での成長基盤構築のための先行費用および設備投資に伴う減価償却費の増加により減益となりました。

営業外費用としては、当社の持分法適用関連会社であるBaylor Miraca Genetics Laboratories, LLC (米国) の業績悪化に伴い、持分法による投資損失が拡大いたしました。また、同社の公正価値が簿価を下回ったことから、当該差額を持分法による投資損失として8億98百万円追加計上いたしました。これらの結果、経常利益は減益となりました。

また、当期において繰延税金資産の一部を取り崩しました。これらの結果、親会社株主に帰属する当期純利益は63億86百万円となりました。

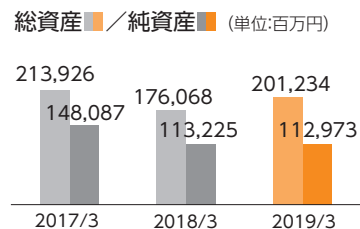
経常利益  
**115億24**百万円  
前期比 30.4%減



親会社株主に帰属する当期純利益  
**63億86**百万円

資産

総資産  
**2,012億34**百万円  
純資産  
**1,129億73**百万円

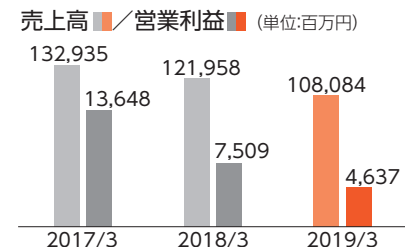


総資産は、国内受託臨床検査事業における検査機器等の有形固定資産等の増加により、前期末より251億66百万円増加し、2,012億34百万円となりました。

また、自己資本比率は、前期末に比べ8.2%減少し、56.0%となりました。

## セグメント別情報

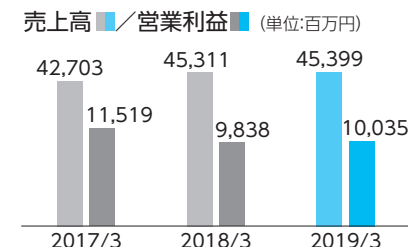
### 受託臨床検査事業



売上高は、国内事業において既存顧客での価格下落の影響があったものの、新規顧客獲得によるテスト数の増加および遺伝子検査領域等における新規検査項目の導入により増収となりました。しかしながら、MLSの連結除外の影響により全体では減収となりました。利益面では、成長基盤構築のための先行費用および設備投資に伴う減価償却費の増加により費用が増加したこと、また売上成長の発現が遅延したことから、減益となりました。

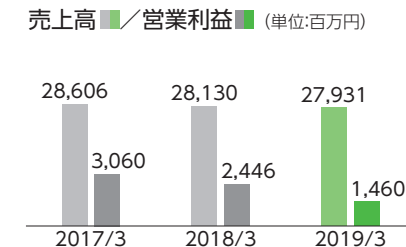
これらの結果、売上高は1,080億84百万円 (前期比11.4%減)、営業利益は46億37百万円 (前期比38.2%減) となりました。

### 臨床検査薬事業



成長事業であるルミパルス事業、OEM原材料事業が伸長したものの、海外子会社における前期の一過性売上の反動減および海外における一部製品の終売等の影響で売上高は前期並みとなりました。利益面では、プロダクトミックスの変化などにより増益となりました。これらの結果、売上高は453億99百万円 (前期比0.2%増)、営業利益は100億35百万円 (前期比2.0%増) となりました。

### ヘルスケア関連事業



ヘルスケア関連事業の売上高は、滅菌事業は堅調であったものの、治験事業の減収および事業売却の影響などにより、279億31百万円 (前期比0.7%減) となりました。

また営業利益は、減収に伴う減益のほか、滅菌事業における基盤強化費用の計上などにより、14億60百万円 (前期比40.3%減) となりました。

### セグメント変更について

2020年3月期より、記載のとおり事業セグメントを変更いたします。



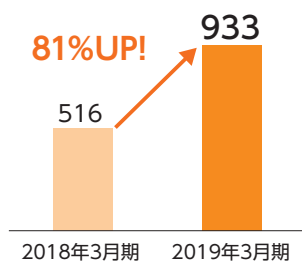
中期計画「Transform! 2020」の進捗

# 開業医向けサービスの向上を目指して

地域医療連携の一環として、「かかりつけ医」をもつことが推奨されており、その担い手として開業医の重要性が高まっております。

みらかグループでは現中期計画「Transform! 2020」の重要施策のひとつとして、開業医市場におけるシェア向上、サービス拡充を掲げております。これまで進めてきた様々な取り組みが奏功し、開業医のお客さま数は順調に増加しております。その主な取り組みをご紹介します。

●開業医顧客純増数 (単位:件)



## 港ラボラトリーによる高付加価値サービスの提供

エスアールエルは、開業医数の多い首都圏において、新たに港区にラボラトリーを開設いたしました。

この港ラボラトリー (SRL Advanced Lab. Azabu) では、精度の高い検査結果をスピーディーに医療機関へご提供することが可能な検査体制を整備しております。24時間365日稼働でありながら、自動搬送ラインや協働ロボットなどにより全自動化を進め、省力化を実現いたしました。また、お客さまに電子カルテシステムなどを体験いただけるショールーム機能もご好評をいただいております。

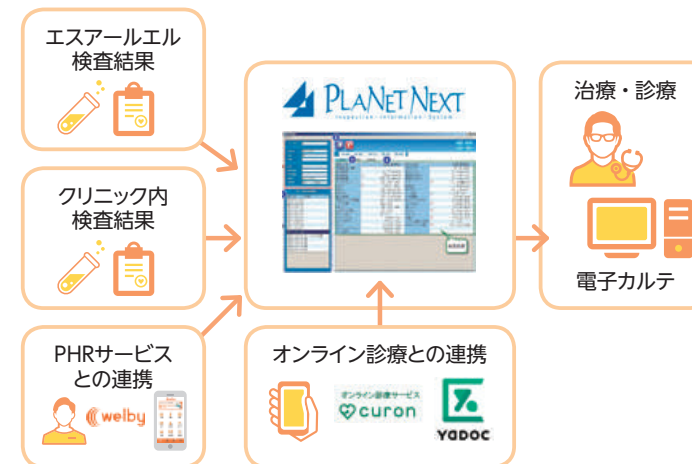


SRL Advanced Lab. Azabuの検査室

## PLANET NEXTによるデータ連携・外部サービス連携

エスアールエルでは、医師向け検査結果参照システム「PLANET NEXT®」と、患者さまのパーソナルヘルスレコード (PHR) および、オンライン診療との連携を開始いたしました。これにより、医師は迅速な検査結果の確認やデータの一元管理だけでなく、患者さまの日々の体調変化なども考慮した治療や、ビデオ通話などを使った診療など、より効率的な診療が可能になります。

今後とも、医師と患者双方への利便性の向上に取り組んでまいります。



### 株主さま向け施設見学会のご案内

株主さまに当社グループの事業内容について、より一層ご理解を深めていただくため、今年度、株主さま向けの施設見学会を以下の要領にて開催いたします。



- 【対象者】 100株以上保有(2019年3月31日時点)の株主さまご本人
- 【日程】 2019年8月24日(土)  
①10:00~12:00  
②14:00~16:00
- 【場所】 SRL Advanced Lab. Azabu  
(東京都港区・都営大江戸線 赤羽橋徒歩4分)
- 【内容】 当社グループの事業説明および施設見学
- 【募集人数】 ①②各25名ずつ(合計50名)
- 【参加費】 無料  
(ただし、往復交通費は各自のご負担とさせていただきます)

- 【応募方法】 1.同封の応募はがきでのご応募はがきに必要事項をご記入のうえ、ご郵送ください。  
2.株主さま見学会応募サイトからのご応募  
URL: <https://www.miraca.com/ir/kabu>  
※はがきとインターネットによる重複応募につきましては、インターネットによるご応募を有効、またインターネットにより複数回応募された場合は、最後の応募を有効とさせていただきます。



- 【締切日】 2019年7月5日(金)消印有効  
※応募サイトは17:30まで
- 【お問い合わせ】 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
みらかホールディングス株式会社  
株主さま向け施設見学会専用窓口  
0120-181-121 (通話料無料)  
受付時間:9:00~17:00(土日祝日等を除く)

※当選・落選結果は、ご応募いただきましたすべての株主さまの株主名簿にご登録の住所に郵送にてお知らせいたします。(8月9日発送予定)

個人投資家向け会社説明会への参加

2018年12月15日、東京にて開催された「SMBC日興IRフォーラム2018 winter」の会社説明会に参加いたしました。

これからも、みらかグループについてのご理解を深めていただくために、個人投資家のみならずへ向けたIRイベントなどに積極的に出展してまいります。



日興アイ・アール「ホームページ充実度ランキング調査」にて優秀サイトに選定

2018年12月、当社のホームページは日興アイ・アール株式会社による「2018年度 全上場企業ホームページ充実度ランキング」総合ランキングにおいて優秀サイトに選ばれました。

本ランキングは、全上場企業3,785社のホームページを対象に「分かりやすさ」「使いやすさ」「情報の多さ」の3視点で客観的に評価、ランキング付けされているものです。

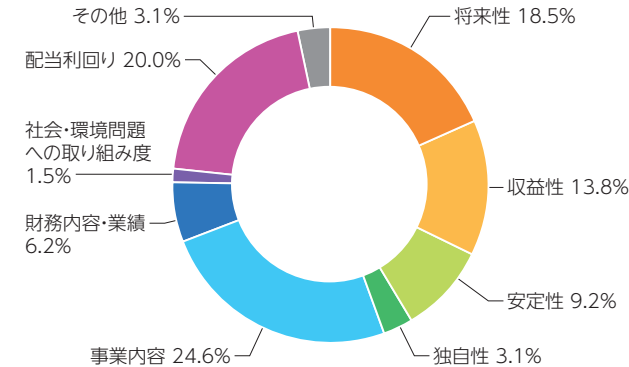
みらかグループは今後もIRサイトおよびコーポレートサイト全体の充実に努めてまいります。



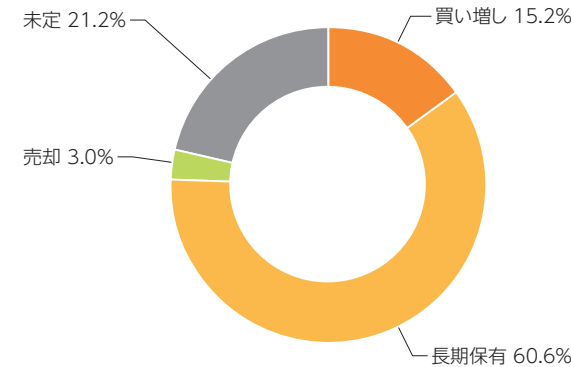
株主さまアンケート結果のご報告

第69期中間株主通信にてお願いいたしましたアンケート調査に、多くのご回答とご意見を頂戴いたしました。お忙しいなかご協力いただきましたみなさまには、厚くお礼申し上げますとともに、ご回答結果の一部をご紹介します。

Q. あなたが当社の株式を購入された理由は何ですか。(複数回答可)



Q. あなたは当社の株式に対してどのような方針をお持ちですか。



みなさまからいただきました貴重なご意見は、今後の企業活動に反映させていただきます。

会社概要 (2019年3月31日現在)

社名 みらかホールディングス株式会社  
 本社所在地 〒163-0408  
 東京都新宿区西新宿2-1-1  
 新宿三井ビルディング  
 TEL: 03-5909-3335 (代表)

資本金 9,113百万円  
 経営体制 指名委員会等設置会社  
 従業員数 5,957名 (連結)

株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数 200,000,000株  
 発行済株式の総数 57,361,385株  
 1単元の株式数 100株  
 株主数 8,160名

大株主の状況

氏名又は名称	所有株式数(千株)	持株比率(%)
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	6,325.9	11.08
日本スタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,452.0	7.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	4,070.1	7.13
株式会社みずほ銀行	2,132.1	3.73
第一生命保険株式会社	2,000.7	3.50
JP MORGAN CHASE BANK 385632	1,616.0	2.83
日本生命保険相互会社	1,538.6	2.69
STATE STREET CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM44	1,528.5	2.68
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE HSD00	1,403.3	2.46
明治安田生命保険相互会社	1,272.2	2.23

(注) 1. 持株比率は、自己株式255,181株を除いて計算しております。なお、自己株式には業績連動型株式報酬制度(役員報酬BIP信託)により当該信託が保有する株式149,200株は含まれておりません。  
 2. 日本スタートラスト信託銀行株式会社および日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の持株数は、信託業務に係るものです。  
 3. 株式会社みずほ銀行の持株数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式2,131,500株(持株比率3.73%)を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)

所有者別株式数の状況

